



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月14日

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所 東  
 コード番号 6187 URL http://litalico.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敦弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 坂本 祥二 TEL 03(5704)7355  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	9,093	—	937	—	956	—	620	—
2018年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 619百万円 (—%) 2018年3月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	35.38	34.84
2018年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年3月期第3四半期の数値及び2019年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	6,228	2,910	46.6
2018年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 2,902百万円 2018年3月期 ー百万円

(注) 当社は、2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年3月期の数値を記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,212	—	816	—	836	—	570	—	32.50

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の対前期増減率を記載しておりません。

3. 本連結業績予想数値は、2018年5月14日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました、単体の業績予想数値から変更ありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	17,561,400株	2018年3月期	17,517,400株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	46株	2018年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	17,531,519株	2018年3月期3Q	17,429,603株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続いております。しかし、中東、北朝鮮情勢の緊迫化などの地政学リスクや、米国の通商政策をめぐる対立や金利上昇など海外には不透明な材料が多く、国内においては実質賃金の減少による個人消費の低迷が懸念されるほか、人手不足の深刻化によって一部の業種で供給制約が発生するなど景気の拡大を阻害するリスクがあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境においては、民間企業に義務付けている障害者の雇用割合（法定雇用率）の算定基礎に精神障害者を加えることにより、民間企業の障害者雇用率を2018年4月に2.2%、2020年度末までに2.3%への引き上げを厚生労働省が決定したことで、障害者雇用に対する旺盛な需要が見込まれております。

また、全国の公立小中学校のうち、障害のある生徒が通常学級に在籍しながら必要に応じて別室などで授業を受ける「通級指導」の2017年度の設置学校数は昨年対比で15.5%増加し、5,283校となっており、また対象者は108,946人で過去最高を更新するなど、発達障害への社会認知が進んでいます。

そのような外部環境の変化を踏まえ、長期的利益の安定成長を実現するため、働くことに障害のある方への就労支援サービスであるLITALICOワークス事業及び、子ども一人ひとりの個性に合わせた学びを提供する幼児教室・学習教室であるLITALICOジュニア事業の一層の強化を進めております。具体的には、当第3四半期連結累計期間の新規拠点開設数は、就労移行支援事業6拠点、児童発達支援事業1拠点、放課後等デイサービス事業1拠点、学習教室事業1拠点、その他（LITALICOワンダー事業）3拠点となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高9,093,453千円、営業利益937,230千円、経常利益956,403千円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は620,283千円となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

## ①LITALICOワークス事業

既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,353,812千円となりました。

## ②LITALICOジュニア事業

既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,947,596千円となりました。

## ③その他

LITALICOワンダー事業の既存拠点及び新規開設拠点が順調に推移したこと及び、その他の事業の収益拡大により当第3四半期連結累計期間の売上高は792,044千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、6,228,842千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,156,080千円、売掛金1,881,672千円、有形固定資産1,838,816千円であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、3,318,374千円となりました。主な内訳は、長期借入金及び1年内返済長期借入金1,919,971千円、未払費用599,625千円であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,910,468千円となりました。主な内訳は、資本金360,579千円、資本剰余金319,579千円、利益剰余金2,223,321千円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

非連結子会社でありました株式会社LITALICOライフにつきまして、重要性が増したため連結の範囲に含めることとし、第1四半期連結会計期間より連結決算へ移行しております。2019年3月期通期の連結業績予想数値につきましては、2018年5月14日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました、単体の業績予想数値から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(2018年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,156,080
売掛金	1,881,672
たな卸資産	2,000
前払費用	148,744
その他	51,801
貸倒引当金	△1,668
流動資産合計	3,238,632
固定資産	
有形固定資産	
建物附属設備	1,502,617
工具、器具及び備品	1,099,811
減価償却累計額	△763,612
有形固定資産合計	1,838,816
無形固定資産	
ソフトウェア	171,768
ソフトウェア仮勘定	81,955
その他	12,653
無形固定資産合計	266,377
投資その他の資産	
投資有価証券	260,476
敷金及び保証金	474,507
繰延税金資産	69,475
その他	80,557
投資その他の資産合計	885,016
固定資産合計	2,990,210
資産合計	6,228,842

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(2018年12月31日)

負債の部	
流動負債	
短期借入金	50,000
1年内返済予定の長期借入金	587,074
リース債務	12,673
未払金	269,953
未払費用	599,625
未払法人税等	179,537
預り金	219,491
その他	33,157
流動負債合計	1,951,512
固定負債	
長期借入金	1,332,897
リース債務	33,964
固定負債合計	1,366,861
負債合計	3,318,374
純資産の部	
株主資本	
資本金	360,579
資本剰余金	319,579
利益剰余金	2,223,321
自己株式	△93
株主資本合計	2,903,387
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△801
その他の包括利益累計額合計	△801
新株予約権	7,883
純資産合計	2,910,468
負債純資産合計	6,228,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	9,093,453
売上原価	5,568,950
売上総利益	3,524,502
販売費及び一般管理費	2,587,272
営業利益	937,230
営業外収益	
受取利息	4
助成金収入	26,428
その他	3,741
営業外収益合計	30,173
営業外費用	
支払利息	6,167
支払手数料	3,888
その他	945
営業外費用合計	11,000
経常利益	956,403
特別利益	
新株予約権戻入益	2,787
特別利益合計	2,787
特別損失	
固定資産除却損	24,623
特別損失合計	24,623
税金等調整前四半期純利益	934,568
法人税、住民税及び事業税	314,285
法人税等合計	314,285
四半期純利益	620,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	620,283

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	620,283
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△990
その他の包括利益合計	△990
四半期包括利益	619,292
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	619,292



## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました株式会社LITALICOライフにつきまして、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LITALICO ワークス事業	LITALICO ジュニア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,353,812	3,947,596	8,301,408	792,044	9,093,453
セグメント利益又は損失(△)	1,564,427	838,008	2,402,436	△177,554	2,224,881

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOワンダー事業、LITALICO発達ナビ事業、LITALICO仕事ナビ事業、Conobie事業、LITALICOライフプランニング事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	2,402,436
「その他」の区分の損失	△177,554
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△1,287,651
四半期連結損益計算書の営業利益	937,230

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。